

乳牛の鳥インフルエンザ アップデート

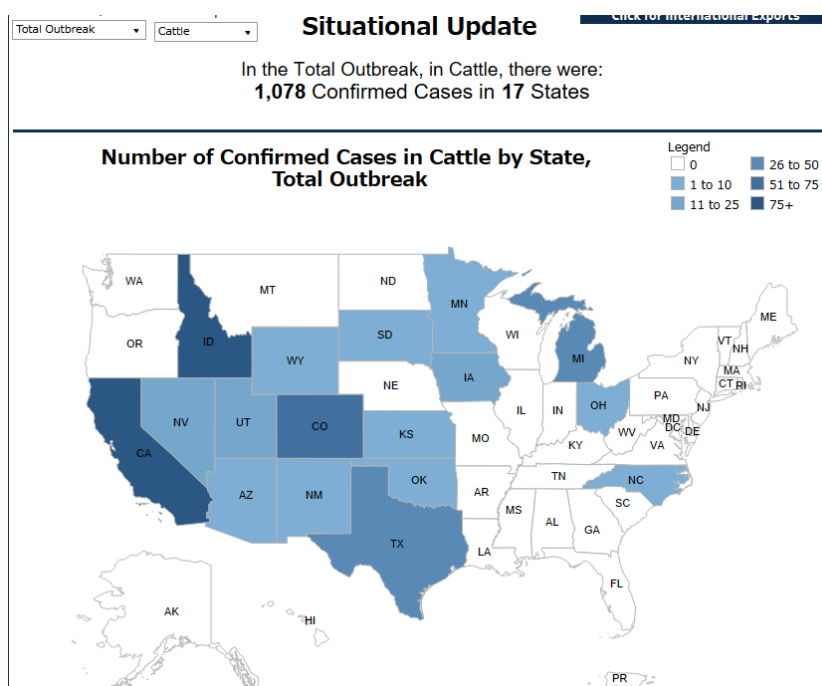
かやの

最新情報まとめ

2024年に世界で初めて鳥インフルエンザ(H5)に感染した乳牛がアメリカで確認されました。その後、アメリカ国内で感染は拡がり、ヒトやほかの動物への伝播も確認されています。乳牛が感染することで生産性が低下することは以前の M 情報でも書きました。ヒトへの感染もみられることから、単に牛だけの問題ではなく、搾乳者や農場で働く人間にとっても脅威となり得る人獣共通感染症でもあります。今回は乳牛の鳥インフルエンザの最新情報についてまとめます。

アメリカの感染状況

2025年 8 月1日現在、2024年の発生から17 州、計 1078 頭(41の牛群)の鳥インフルエンザに感染した乳牛が確認されています。最も多いのは**カリフォルニア州で771頭**、アイダホ州107頭の感染が確認されています。最新のケースは 8 月 1 日で乳牛(カリフォルニア州)の症例が出ています。



引用: <https://www.aphis.usda.gov/livestock-poultry-disease/avian/avian-influenza/hpai-detections/hpai-confirmed-cases-livestock>

ヒトの感染状況

これまでに、ヒトからヒトへの感染は認められていませんが、合計 70 人の感染が確認されています。1 人の死亡症例が出ていますが、**公衆衛生的な蔓延リスクは「低い」**とされています。

まとめ

乳牛への感染は野鳥からが最も疑わしいという研究者がいる一方で、乳牛からネコや家禽(ニワトリ)、さらにはヒトへ「牛 → ○○」という矢印で感染が拡がった可能性も指摘されています。また、ハエによる機械的伝播も潜在的な伝播ルートであるという報告も出てきました。依然として日本への伝播リスクは低いですが、**日常的な清掃・消毒を心掛けていきましょう！**

[参考]

H5 Bird Flu: Current Situation : https://www.cdc.gov/bird-flu/situation-summary/index.html#cdc_situation_summary_current-current-situation

HPAI Confirmed Cases in Livestock : <https://www.aphis.usda.gov/livestock-poultry-disease/avian/avian-influenza/hpai-detections/hpai-confirmed-cases-livestock>